

款	項	目	担当部局・課名	教育委員会事務局 文化と学びの課			
3	2	6					
事業名		子どもの居場所づくり推進事業（放課後児童健全育成事業/放課後児童クラブ）					
事業区分	継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報酬（④会計年度任用職員報酬）		120,247	113,265	0	6,982	94.0%
	② 職員手当等（⑬一般職期末手当）		19,470	18,508	0	962	95.0%
	③ 需用費（⑤光熱水費）		6,335	5,292	0	1,043	84.0%
	④ 委託料（①業務委託料（物件費））		10,338	10,072	242	24	97.0%
	⑤ 負担金、補助及び交付金（⑤補助金（補助費））		1,128	1,063	0	65	94.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		148,200	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		13,654	該当/頁	174
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		161,854	該当/頁	177
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		会計年度任用職員の報酬について、年度当初予定配置支援員の人数が雇用できなかったため。また、日々雇用の勤務実績が見込みを下回ったため。 光熱水費は、三良坂放課後児童クラブの移転等により、使用料の見込みを下回ったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	161,854	33,742	33,742	0	28,078	66,292	
	財源区分						
	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金	子ども・子育て支援交付金					
	県支出金	子ども・子育て支援交付金					
負担金等その他	放課後児童クラブ負担金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	保護者が就労などにより昼間留守家庭となる、小学校1年生から6年生までの児童を対象として、放課後や土曜日・長期休業中に家庭に代わる生活の場として遊びを中心とした活動を行い、児童の健全育成のための放課後児童クラブを運営する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>報酬（④会計年度任用職員報酬） 113,264,335円 会計年度任用職員報酬 主任放課後児童支援員1人、放課後児童支援員（週6日勤務：30人、週5日勤務：10人、放課後児童支援員日々雇用74人）</p> <p>職員手当等（⑬一般職期末手当） 18,507,184円 会計年度任用職員（児童支援員）期末手当</p> <p>需用費（⑤光熱水費） 5,291,248円 電気料金、下水道代</p> <p>委託料（①業務委託料（物件費）） 10,071,450円 放課後児童クラブ運営委託料 9,608,000円 委託先：中央福祉会（ちゅうおう児童クラブ） 定員：55人 児童安全確保整備事業（マメール）他業務委託料 463,450円</p> <p>負担金、補助及び交付金（⑤補助金（補助費）） 1,062,871円 小規模型放課後児童クラブ事業補助金 930,000円 八幡放課後児童クラブ 利用児童：10人 ※子ども・子育て支援交付金対象外のため補助金で運営 保育士等処遇改善臨時特例補助金（ちゅうおう児童クラブ）132,871円</p> <p>その他の節の決算額 13,657,009円 ※他の経費が1,000円未満切上により⑦欄と一致せず</p> <p>主な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費（①費用弁償） 3,496,457円 児童支援員通勤手当 ・需用費（①消耗品費） 3,838,436円 各児童クラブの消耗品 ・役務費（⑧その他保険料） 1,058,100円 賠償、傷害保険料 ・工事請負費（①工事請負費） 1,188,000円 酒河放課後児童クラブ移転整備工事 						
別添資料等	無						
(事業一覧等)							
成果/評価 *事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	保護者が就労などにより、昼間留守にする家庭の小学校1年生から6年生までの児童を対象として、放課後や土曜日、春、夏、冬休みなどの学校休業日に、家庭に代わる生活の場として遊びを中心とした活動を行い、待機児童なく放課後児童クラブの運営を行った。 運営にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心を確保しながら子どもたちの健全な育成を図った。						

款	項	目	担当部局・課名				
10	5	1	教育委員会事務局 文化と学びの課				
事業名			子どもの居場所づくり推進事業（放課後子ども教室事業）				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報償費（①委員等謝礼）		55	47		8	85.0%
	② 委託料（①業務委託料（物件費））		25,000	22,132		2,868	89.0%
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			22,179	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 274
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			22,179	該当/頁 277
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		新型コロナウイルス感染症の影響を含み、平均利用児童数が減少したことにより、運営業務委託料が当初の見込みを下回ったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	22,179	0	8,174	0	0	14,005	
	財源区分 補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金						
	県支出金 令和4年度学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	放課後児童クラブの実施が困難な10小学校区について、小学校1年生から6年生までの児童を対象として、放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所の確保を図り、地域住民の参画を得て様々な体験・交流・学習活動を行うことで児童の社会性や自主性・創造性等を育成する場所として、放課後子ども教室の運営を運営を自治組織等に委託する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>報償費（①委員等謝礼）</p> <p>放課後子ども教室運営委員会委員謝礼 46,800円 (令和4年11月2日開催 7,800円×6名)</p> <p>委託料（①業務委託料（物件費）） 22,131,312円</p> <p>放課後子ども教室推進事業運営業務委託料（10か所） 22,083,312円 ※各放課後子ども教室一覧は別紙</p> <p>児童安全確保整備事業（マメール放課後子ども教室分）業務委託料 48,000円</p>						
別添資料等 有 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	市内10箇所（河内・粟屋・布野・作木・川地・青河・川西・田幸・君田・小童）で、住民自治組織などへ運営を委託することで、地域住民が直接子どもたちに関わり地元で根付いた活動となっている。感染症対策を行いながら各教室で工夫し、学習指導をはじめ、工作教室や調理教室、スポーツ活動、落語教室、農業体験などの幅広いプログラムを企画し、子どもたちの可能性が広がる取組が行われている。						

令和4年度 放課後子ども教室運営委託料

当初予算額 25,000,000 円

(単位：円)

No	放課後子ども教室名	運営団体	役職	代表者名	住所	委託料
1	栗屋放課後子ども教室	栗屋町づくり協議会	会長	中川 哲和	三次市栗屋町2320-1	2,487,512
2	河内放課後子ども教室	河内まちづくり連合会	会長	堂前 昭己	三次市小文町182-1	2,589,875
3	布野放課後子ども教室	布野町まちづくり連合会	会長	池上 裕章	三次市布野町上布野1196-1	2,528,600
4	作木放課後子ども教室	一般社団法人作木町自治連合会	理事長	瀧奥 祥二郎	三次市作木町下作木905-2	2,098,250
5	川地放課後子ども教室	川地連合自治会	会長	久保田 博昭	三次市下志和地町696-1	2,512,450
6	青河放課後子ども教室	青河放課後子ども教室	会長	奥川 登	三次市青河町582-1	1,735,350
7	川西放課後子ども教室	川西放課後子ども教室	会長	福永 要	三次市三若町2633-3	1,540,600
8	田幸放課後子ども教室	田幸地区町内会連合会	会長	黒瀬 隆則	三次市大田幸町342-5	2,437,400
9	君田放課後子ども教室	君田自治区連合会	会長	宮本 正和	三次市君田町東入君644-8	1,748,175
10	小童放課後子ども教室	小童放課後子ども教室	会長	近藤 幸晴	三次市甲奴町小童3029-2	2,405,100
合計						22,083,312

款	項	目	担当部局・課名				
3	2	6	教育委員会事務局 文化と学びの課				
事業名			子どもの居場所づくり推進事業 (八次子ども集会所整備事業)				
事業区分		継続事業	第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)		700	693	0	7	99.0%
	② 工事請負費 (①工事請負費)		22,616	22,315	0	4	99.0%
	③ 備品購入費 (③その他備品購入費)		3,000	1,536	0	1,464	51.0%
	④						
	⑤						
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			24,544	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 176
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			24,544	該当/頁 177
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		既存備品を見直し, 精査することで購入をしなかったため					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	24,544	5,625	5,625	12,300	994		
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金	子ども・子育て支援施設整備交付金					
	県支出金	子ども・子育て支援施設整備交付金					
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	保護者が就労などにより昼間留守家庭となる, 小学校 1 年生から 6 年生までの児童を対象として, 放課後や土曜日・長期休業中に, 家庭に代わる生活の場として遊びを中心とした活動支援を行うため, 児童の健全育成のための放課後児童クラブの施設整備をする。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>委託料 (④調査測量設計監理等委託料) 693,000円 下水道接続等工事監理業務</p> <p>工事請負費 (①工事請負費) 22,314,600円 施設改修, 棚・手洗い場設置, 下水道接続</p> <p>備品購入費 (③その他備品購入費) 1,535,600円 児童用机・椅子</p>						
							
別添資料等	無						
(事業一覧等)	教室改修		静養室改修		手洗い場設置		
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	児童の健全育成のための放課後児童クラブの運営のため, 八次小学校区について, 5つの放課後児童クラブの集約化を図り, 八次子ども集会所を整備し移設した。						

款	項	目	担当部局・課名				
10	1	3	教育委員会事務局 文化と学びの課				
事業名			高校生地域活動支援事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	1,800	444	0	1,356	25.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		444	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		444	該当/頁	265
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		新型コロナウイルス感染症の影響もあり, 補助金申請額 (件数) が少なかったため					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	444	0	0	0	0	444	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	高校生が取り組む地域振興や地域貢献活動など, 高等学校が行う郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業, 学習活動等を支援することで, 地域に開かれた高等学校を推進する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	負担金、補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) ○高校生地域活動支援事業補助金 443,694円 (事業実績高等学校) ・広島県立三次青陵高等学校 231,543円 足踏み式消毒液スタンド修理, プログラミング教室開催 ・広島県立日影館高等学校 212,151円 地域清掃・草刈り活動, 人形劇開催, 卒業生の講演会 【補助要件】 (対象事業) 郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業, 学習活動, ボランティア活動, 福祉活動等 (対象経費)						
	別添資料等 無 (事業一覧等)	補助対象事業の運営に必要な消耗品購入費, 通信運搬費, 印刷製本費, 謝礼及び交通費に要する費用 (補助金の額) 補助対象事業 1 件当たり20万円を限度					
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	市内高等学校の生徒が取り組む地域振興・地域貢献に関する活動を支援し, 郷土に愛着と誇りをもつ人材の育成を図った。本事業業がより効果的に活用できるよう, 学校への周知説明を行う必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名				
10	5	5	教育委員会事務局 文化と学びの課				
事業名			子ども文化芸術ふれあい事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	負担金、補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	2,452	1,151	0	1,301	47.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			1,151	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 282
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			1,151	該当/頁 283
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		新型コロナウイルス感染症の影響で、広島交響楽団オーケストラ音楽教室の開催が中止となったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	1,151	0	0	0	1,151	0	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	負担金等その他	スポーツ・文化みよし夢基金					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次の未来を担う子どもたちへ、芸術文化に触れる機会を積極的に提供し、三次の芸術文化に誇りを持つ教育を推進することで、豊かな心を培い、感性を研ぎすますとともに、多様な個性を育み、次世代の担い手の育成のきっかけとなるよう寄与する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	負担金、補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) ・三次市小・中学生芸術鑑賞事業 846千円 美術鑑賞事業 市内美術館等の見学鑑賞人数 630名 参加校 市内小学校11校 実施場所 奥田元宋・小由女美術館 外 ・三次きらきらコンサート 305千円 会場 三次市民ホールきりり 参加校 市内中学校6校 ・三次中学校 ・十日市中学校 ・塩町中学校 ・八次中学校 ・吉舎中学校 ・三良坂中学校						
	別添資料等 無 (事業一覧等)	実施内容 会場での演奏収録 ピオネット放映・DVD作成				無観客で行われた「三次きらきらコンサート」 収録の様子	
成果/評価 *事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	三次の未来を担う子どもたちへ、芸術文化に触れる機会を積極的に提供し、三次の芸術文化に誇りを持つ教育を推進することで、豊かな心を培い、感性を研ぎすますとともに、多様な個性を育み、次世代の担い手の育成のきっかけとすることができた。						



無観客で行われた「三次きらきらコンサート」収録の様子

款	項	目	担当部局・課名				
10	5	5	教育委員会事務局文化と学びの課				
事業名			奥田元宋・小由女美術館リニューアル事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 旅費 (②普通旅費)		305	42	0	263	14.0%
	② 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)		8,879	1,584	3,300	3,995	18.0%
	③ 工事請負費 (①工事請負費)		131,722	125,945	3,500	2,277	96.0%
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	○ 12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		127,571	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	284
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		127,571	該当/頁	285
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		入札残による					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	127,571	0	0	127,529	0	42	
	財源区分						
	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金						
	県支出金						
負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	奥田元宋・小由女美術館の空調設備の改修工事, 防犯カメラ改修工事, 中央監視盤改修工事設計業務 老朽化した空調設備等の設備を改修することで, 収蔵美術品及び企画展, 常設展における美術作品の適切な管理を行う。 令和3年度 LED照明交換工事 (企画展示室), 空調設備改修工事基本・実施設計業務						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	旅費: 奥田小由女先生との協議等 東京外 41,400円		 <p>防犯カメラ (展示室)</p>				
	委託料: 防犯カメラシステム改修工事設計監理業務 1,100,000円 中央監視盤改修工事設計業務 484,000円 合計 1,584,000円						
別添資料等 無 (事業一覧等)	工事請負費: 奥田元宋・小由女美術館空調設備改修工事		 <p>防犯カメラ (モニター)</p>				
	機械設備工事 96,800,000円 電気設備工事 19,700,000円 防犯カメラシステム改修工事 9,444,600円 合計 125,944,600円						
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	空調設備や照明設備は美術館にとって最も重要な設備であり, 収蔵品・常設展示品はもとより, 企画展における他館等 からの作品借用の条件としても, 空調設備等による適切な管理が求められている。 美術館の運営に支障をきたすことのないよう, 空調設備や照明設備, 防犯カメラシステムなどの設備改修等を計画的に 行うことで, 展示する側も来館者も安心して施設の利用ができ, 市民の文化・芸術の発展や継承に寄与することができる。						

款	項	目	担当部局・課名				
10	5	5	教育委員会事務局 文化と学びの課				
事業名			文化勲章受章記念 奥田小由女展 - 元宋作品とともに -				
事業区分		継続事業	第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	14,666	14,666	0	0	100.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		14,666	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	284
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		14,666	該当/頁	285
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	14,666	0	0	0	5,000	9,666	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
負担金等その他	宝くじコミュニティ助成金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	本市名誉市民である奥田小由女氏の文化勲章受章を記念して、夫である奥田元宋氏の作品とともに奥田小由女氏の軌跡を振り返るとともに、良質な芸術作品の鑑賞の場を提供する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))						
	費目	補助金充当額	内容				
	謝金	420,000	作品借用, ワークショップ講師謝礼				
	旅費	296,916	作品借用, 返却				
	消耗品費	86,226	展示消耗品				
	印刷製本費	3,045,500	図録印刷費				
	通信運搬費	210,357	印刷物発送料				
	保険料	405,710	作品輸送保険料				
	広告宣伝費	784,190	名義主催料等				
	委託料	9,387,051	作品輸送, 会場構成				
使用料及び賃借料	29,700	写真使用料他					
別添資料等	無						
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	奥田小由女氏の作品の軌跡を辿る回顧展となり、元宋作品とともに展示することで夫妻の芸術世界を紹介できた。本市が輩出した著名な芸術家夫妻を改めて市民に広報することで、郷土の誇りの醸成を行った。また、ワークショップや作品解説を行うことで、芸術に親しむ機会を提供できた。また、図録を作成し、夫妻の作品と略歴及びこれまでまとまった形で紹介したことのない奥田小由女氏の制作についても公開できた。						



奥田小由女展～元宋作品とともに
開会式

款	項	目	担当部局・課名				
10	5	4	教育委員会事務局 文化と学びの課				
事業名			史跡寺町廃寺跡整備事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報償費 (①委員等謝礼)		348	306	0	42	88.0%
	② 旅費 (①費用弁償)		229	122	0	107	53.0%
	③ 旅費 (②普通旅費)		92	88	0	4	96.0%
	④ 委託料 (①業務委託料 (物件費))		1,531	1,414	0	117	92.0%
	⑤ 使用料及び賃借料 (⑥事務機器等借上料)		60	57	0	3	95.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		1,987	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		16	該当/頁	278
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		2,003	該当/頁	281
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	2,003	1,001	0	0	0	1,002	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金	国宝重要文化財等保存活用事業費補助金 (史跡等保存活用計画等策定事業)					
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	史跡寺町廃寺跡について、史跡を取り巻く現状と課題を整理し、今後の保存と活用の方向性をまとめた保存活用計画の策定に取り組んだ。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報償費 (①委員等謝礼) 三次市史跡寺町廃寺跡保存活用計画策定委員会の委員謝礼, 年間3回 (令和4年9月, 令和5年1・3月)						
	旅費 (①費用弁償) 保存活用計画策定会委員費用弁償 (島根県・岡山県・奈良県), オブザーバー費用弁償 (文化庁・県教委)						
旅費 (②普通旅費) 文化庁との協議に係る旅費 (東京都)							
委託料 (①業務委託料 (物件費)) 保存活用計画策定業務支援委託 (計画策定及び委員会の開催支援等)							
使用料及び賃借料 (⑥事務機器等借上料) 保存活用計画の図面作成用パソコンの賃貸借							
別添資料等 無 (事業一覧等)							
	【保存活用計画策定委員会】		【策定委員の現地確認】				
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	史跡寺町廃寺跡の適切な保存と活用に向けた事業である。(平成30年度から着手) 令和4年度については保存活用計画の策定に取り組んだ。本計画は、平成31年の文化財保護法の改正に伴い制度化されたもので、史跡の保存・活用の取組(整備等)の推進には原則必須の計画となる。策定にあたっては、三次市史跡寺町廃寺跡保存活用計画策定委員会を設置し、学識有識者及び地元(和田自治連合会)からの協力も得ながら策定に努めており、今後の保存・活用の取組に向けた基礎資料とする。						

款	項	目	担当部局・課名				
10	5	5	教育委員会事務局 文化と学びの課・甲奴支所				
事業名			ジミー・カーターシビックセンター改修事業				
事業区分		新規事業	第4節 美しい風景を後代に伝える「環境づくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (①業務委託料 (物件費))		3,000	2,976	0	24	99.0%
	② 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)		5,902	792	5,110	0	13.0%
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		3,768	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	282
	臨時会補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		3,768	該当/頁	283
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和4年度 特定財源 内訳	3,768		0	0	700	0	3,068
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			建設されて28年が経過するジミー・カーターシビックセンターの老朽化した空調等設備及び展示内容を更新し、より魅力ある施設にリニューアルする。				
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			<p>委託料 (①業務委託料 (物件費))</p> <ul style="list-style-type: none"> ジミー・カーターシビックセンター「平和学習センター」展示コンテンツ改編業務：2,975,500円 ジミー・カーター元大統領の生い立ちと活動や交流事業を紹介する展示室 (平和学習センター) の内容を米国アトランタ市のカーターセンター所蔵の資料を調査し、展示内容を更新するための調査・検討を実施した。 <p>委託料 (④調査測量設計監理等委託料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ジミー・カーターシビックセンター冷温水配管劣化診断業務：792,000 ジミー・カーターシビックセンター空調設備等改修工事基本・実施設計業務：5,109,500 (5月末まで繰越) <p>施設の空調等設備等について総合的な調査・検討を行い、改修工事の設計書・図面を作成した。尚、設計にあたりカーターセンター冷温水配管劣化診断を行う必要が生じた為、劣化診断を行いこの診断期間が実施設計の繰越期間となった。</p>				
別添資料等			無				
(事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			長年展示内容の更新ができていない状況にあって、更新に向けての調査・検討を実施することができた。劣化診断も含め、空調設備等改修工事に係る基本・実施設計が完成した。				

款	項	目	担当部局・課名				
10	1	3	教育委員会事務局 学校教育課				
事業名			学校施設整備事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	工事請負費 (①工事請負費)	122,520	110,075	7,795	4,650	90.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		110,075	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	266
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		110,075	該当/頁	267
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		入札残					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和4年度 特定財源 内訳	110,075		23,315	0	65,000	0	21,760
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金		学校施設環境改善交付金				
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		特別な配慮が必要な児童・生徒が学習する通級学級及び特別支援学級の新設に係る教室整備をはじめ、多数の施設整備を進め、各学校の学習環境の整備を行った。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	工事請負費 (①工事請負費)						
	工事名		金額	請負業者		備考	
	八次小学校トイレ改修工事 (Ⅱ期)		52,192,800	株式会社エーグロー		繰越明許	
	吉舎小学校受水槽改修工事		19,800,000	有限会社谷中設備工業			
	作木中学校 防火シャッター改修工事		16,434,000	株式会社藤井工務店			
	布野中学校 中連サッシ修繕工事 (特別支援教室整備事業)		1,298,000	株式会社藤井工務店		繰越明許	
	その他施設修繕工事		20,350,213			繰越明許・現年	
合計		110,075,013					
別添資料等 無 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか		児童・生徒が、安全・安心な環境で学習することのできる学校施設を整備することができた。					

款	項	目					
10	1	3	担当部局・課名 教育委員会事務局 学校教育課				
事業名			学校周辺整備事業				
事業区分		継続事業	第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)		4,856	1,265	500	3,091	26.0%
	② 工事請負費 (①工事請負費)		67,998	33,041	34,957	0	49.0%
	③ 公有財産購入費 (②土地購入費)		50,821	50,557	0	264	99.0%
	④ 補償, 補填及び賠償金 (①補償金)		10,307	8,403	0	1,904	82.0%
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			93,266	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 266
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			93,266	該当/頁 267
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		用地測量業務を令和3年度に前倒して実施したため。補償金が想定を下回ったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	93,266	0	0	93,200	0	66	
	財源区分 補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次中学校のグラウンドが手狭であり、体育の授業及びクラブ活動等に支障が生じているため、新たに学校の近隣の土地を購入し、テニスコートを整備し、グラウンドも整備することで、教育施設の充実を図るものである。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (④調査測量設計監理等委託料)						
	業 務 内 容		金 額	契 約 業 者	備 考		
テニスコート整備工事設計業務		495,000	原井隆建築設計事務所				
テニスコート整備工事監理業務		275,000	原井隆建築設計事務所				
グラウンド整備工事設計業務		495,000	原井隆建築設計事務所				
工事請負費 (①工事請負費)							
工 事 名		金 額	請 負 業 者	備 考			
三次中学校テニスコート整備工事		33,040,700	株式会社ノダ道路				
公有財産購入費 (②土地購入費)							
テニスコート用地として、2,440.05㎡の土地を購入した。							
補償, 補填及び賠償金 (①補償金)							
物件移転補償金, 物件補償金							
別添資料等	無						
(事業一覧等)	 <p>三次中学校テニスコート整備工事</p>						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	土地を購入し、三次中学校テニスコート整備工事を完了したことで、教育施設の充実を図ることができた。また、グラウンド整備工事設計業務を完了し、令和5年度に三次中学校グラウンド整備工事を実施する予定である。						

款	項	目	担当部局・課名															
10	1	3	教育委員会事務局 学校教育課															
事業名			小中学校老朽化対策事業															
事業区分		新規事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」															
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%											
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)		100,000	3,358	96,642	0	3.0%											
	②					0												
	③					0												
	④					0												
	⑤					0												
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		3,358	決算に関する説明書												
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	266											
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		3,358	該当/頁	267											
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)																		
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源											
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他												
令和4年度 特定財源 内訳	3,358		0	0	300	2,150	908											
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称															
	国庫支出金																	
	県支出金																	
	負担金等その他		企業版ふるさと納税															
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	老朽化した三次小学校の改築に向けて、地形測量業務及び耐力度調査業務を行うとともに、基本・実施設計業務に着手した。																	
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (④調査測量設計監理等委託料)																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業 務 内 容</th> <th>金 額</th> <th>契 約 業 者</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三次小学校 改築事業に伴う地形測量業務</td> <td>2,522,300</td> <td>株式会社カシマエンジニアリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三次小学校耐力度調査業務</td> <td>836,000</td> <td>有限会社永井一級建築士事務所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							業 務 内 容	金 額	契 約 業 者	備 考	三次小学校 改築事業に伴う地形測量業務	2,522,300	株式会社カシマエンジニアリング		三次小学校耐力度調査業務	836,000	有限会社永井一級建築士事務所
業 務 内 容	金 額	契 約 業 者	備 考															
三次小学校 改築事業に伴う地形測量業務	2,522,300	株式会社カシマエンジニアリング																
三次小学校耐力度調査業務	836,000	有限会社永井一級建築士事務所																
別添資料等 無 (事業一覧等)																		
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	地形測量業務及び耐力度調査業務を行い、基本・実施設計業務に着手したことで、老朽化した三次小学校の改築に向けて、準備を進めることができた。																	

款	項	目	担当部局・課名				
10	2・3	1	教育委員会事務局 学校教育課				
事業名			スクール便運行事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (③施設機器等管理委託料) (小学校)		128,672	121,079	0	7,593	94.0%
	② 委託料 (③施設機器等管理委託料) (中学校)		1,203	604	0	599	50.0%
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		121,683	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	268
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		121,683	該当/頁	269
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		スクール便を利用する児童が見込みより少なかったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和4年度 特定財源 内訳	121,683		1,113	222	0	0	120,348
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金		へき地児童生徒援助費等補助金				
	県支出金		小中学校教育環境充実支援事業補助金 (遠距離通学費補助事業)				
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	学校統廃合に伴う遠距離通学の児童・生徒 (一部保育所を含む。) の通学手段を確保するため、バス・タクシーによるスクール便を運行した。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (③施設機器等管理委託料) (小学校) (中学校)						
	学校名	路線数	利用人数	金額	備考		
	三次小学校	1	14	3,382,440			
	栗屋小学校	1	2	429,240			
	川西小学校	1	6	1,927,000			
	川地小学校	1	8	3,509,000			
	布野小学校	1	9	1,363,980			
	作木小学校	4	59	35,011,905			
	吉舎小学校	3	29	14,360,370			
	みらさか小学校	4	40	19,467,520			
	三和小学校	4	34	29,122,200			
	甲奴小学校	3	14	9,285,360			
	別添資料等	君田小学校 2 10 3,219,810					
無	塩町中学校 1 19 604,643						
(事業一覧等)	合計		26	244	121,683,468		
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	バス・タクシーを含め、26路線のスクール便を運行し、学校統廃合に伴う遠距離通学の児童・生徒 (一部保育所含む。) 244人の通学手段を確保することができた。						

款	項	目	担当部局・課名				
10	6	3	教育委員会事務局 学校教育課				
事業名			学校給食調理場整備事業				
事業区分		継続事業	第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)		12,302	408	11,894	0	3.0%
	② 工事請負費 (①工事請負費)		2,501,175	1,269,720	1,231,455	0	51.0%
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		1,270,128	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	292
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		1,270,128	該当/頁	293
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	1,270,128	141,811	0	1,128,100	0	217	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金	学校施設環境改善交付金					
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	児童・生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供することを目的として、令和5年度2学期から稼働予定の三次市三次学校給食センターを建設するため、敷地造成工事、建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事、受配校改修工事を行った。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (④調査測量設計監理等委託料)						
	業務内容		金額	契約業者	備考		
調整池修正設計業務		408,100	株式会社タマルコンサルタント				
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	工事請負費 (①工事請負費)						
	工事内容		金額	請負業者	備考		
	敷地造成工事		51,916,700	(株)加藤組			
	建築主体工事		715,110,000	(株)加藤組	前払いほか		
	電気設備工事		169,400,000	光栄電工(株)	前払いほか		
	機械設備工事		322,465,000	(株)中電工・備北設備工業(株)JV	前払いほか		
	配食校改修工事 (十日市中ほか)		10,828,400	品川鋼材(株)ほか			
別添資料等	無						
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	敷地造成工事、三次市三次学校給食センターの建設工事、受配校改修工事を行い、令和5年度2学期からの稼働に向けて準備を進めることができた。						



三次市三次学校給食センター

款	項	目	担当部局・課名				
10	6	3	教育委員会事務局 学校教育課				
事業名			調理場施設設備等整備事業				
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」			
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 工事請負費 (①工事請負費)		9,020	8,113	0	907	90.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			8,113	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 290
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			8,113	該当/頁 291
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	8,113	0	0	8,100	0	13	
	財源区分						
	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金						
	県支出金						
負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	児童・生徒に安全・安心な給食を提供するため、学校給食共同調理場の設備改修を行った。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	工事請負費 (①工事請負費)						
	工 事 名		金 額	請負業者	備考		
作木学校給食共同調理場 空調機更新工事		8,113,600	宮本工業株式会社				
別添資料等 無 (事業一覧等)	 						
	作木学校給食共同調理場 空調機更新工事						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	学校給食共同調理場の設備改修を行い、児童・生徒に安全・安心な給食を提供することができた。						

款	項	目	担当部局・課名	教育委員会事務局 学校教育課				
10	1	3	事業名 個々の学び支援事業					
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
事業 (経費) 内の主 な費目	①	報酬 (④会計年度任用職員報酬)	99,039	92,907	0	6,132	94.0%	
	②	職員手当等 (⑬一般職期末手当)	23,246	15,786	0	7,460	68.0%	
	③	旅費 (①費用弁償)	5,248	4,303	0	945	82.0%	
	④					0		
	⑤					0		
補正 区分	6月補正		⑥ (①~⑤の計) →		112,996	決算に関する説明書		
	9月補正	○	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁 264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		112,996	該当/頁 265		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		勤務日数が、当初の見込みと異なったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	112,996		0	291	0	0	112,705	
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金		教育支援体制整備補助金					
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	個々の児童生徒の教育的ニーズに応じた指導や支援を行うことで、児童生徒に確かな力を身に付けさせるとに、学習意欲の向上を図る。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報酬 (④会計年度任用職員報酬)		<p>【市費教員 (非常勤講師)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の数学科・外国語科において、非常勤講師を1人任用。 ・複式学級を有する小学校に理科支援員、外国語指導員を配置し、指導の充実を図った。 <p>【学校支援員 (教育支援員)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害等のある特別な支援を必要とする児童生徒や生徒指導上の課題を抱える児童生徒など、通常の学級に在籍する特別な配慮が必要な児童生徒への支援・指導の充実を図るため、16校29人を配置。 ・また、教務事務補助員を3人配置し、担任などの印刷業務等に係る業務の軽減を図った。 <p>【障害児介助指導員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある児童生徒の学習・生活介助等のため、23人を配置。 					
	市費教員 (非常勤講師) 7,094,190円 学校支援員 (教育支援員) 50,310,803円 障害児介助指導員 35,502,435円							
別添資料等 無 (事業一覧等)	職員手当等 (⑬一般職期末手当)							
	市費教員 (非常勤講師) 219,474円 学校支援員 (教育支援員) 9,192,084円 障害児介助指導員 6,374,280円							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	旅費 (①費用弁償)							
	市費教員 (非常勤講師) 469,107円 学校支援員 (教育支援員) 2,155,794円 障害児介助指導員 1,678,115円							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか		きめ細やかな指導により、三次市学力学習到達度検査における市平均正答率は全国平均正答率を6.5ポイント上回った。 また、支援員や障害児介助指導員等の研修を実施することで、支援の方法を交流し、よりより支援に結び付いている。						

款	項	目					
10	1	3	担当部局・課名	教育委員会事務局 学校教育課			
事業名			特別支援活動充実事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報酬 (③非常勤職員報酬)		188	94	0	94	50.0%
	② 報酬 (④会計年度任用職員報酬)		3,149	3,149	0	0	100.0%
	③ 職員手当等 (⑬一般職期末手当)		670	520	0	150	78.0%
	④ 報償費 (②講師謝礼)		295	259	0	36	88.0%
	⑤ 旅費 (①費用弁償)		555	261	0	294	47.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		4,283	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		51	該当/頁	264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		4,334	該当/頁	265
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	4,334	0	0	0	0	4,334	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	適正な就学指導の支援体制の構築を図るため、三次市こども応援センター教育相談員による就学指導や、県・市などの関係機関との連携を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報酬 (③非常勤職員報酬) 93,600円 ・生徒の適正な就学の実現のための就学指導委員会を定期的に開催。(年6回)						
	報酬 (④会計年度任用職員報酬) 3,148,800円 ・三次市こども応援センター教育相談員による就学相談や、県・市などの関係機関との連携により、適正な就学指導の支援体制の構築を図った。						
	職員手当等 (⑬一般職期末手当) 519,552円						
	報償費 (②講師謝礼) 258,935円 ・特別支援教育の専門家(大学教授、医師等)を学校に派遣し、特別支援に関する指導を行う巡回相談を実施。 ・特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターの専門性向上を図るために、大学教授を招聘した特別支援教育研修会を実施。						
別添資料等 無 (事業一覧等)	旅費 (①費用弁償) 261,388円						
	その他 需用費 (①消耗品費) 47,430円 ・特別支援教育に関する書籍を購入し、各学校の研修に利用できるように整備した。						
成果/評価 *事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	その他 需用費 (③食糧費) 4,292円 ・就学指導委員会委員へのお茶代						
	就学指導委員会では、200件の審議を行い、幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた就学の実現に取り組み、「通級による指導」を小学校7校(自校2校、巡回による指導5校)、中学校3校(自校1校、巡回による指導2校)において実施した。 特別支援教育の専門家を派遣し、特別支援に関する指導を行う巡回相談の実施や特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターの専門性の向上を図るための特別支援教育研修会を開催した。						

款	項	目	担当部局・課名																
10	1	3	教育委員会事務局 学校教育課																
事業名			個々の学習支援事業																
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」																
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%												
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (①業務委託料 (物件費))		9,721	9,621	0	100	99.0%												
	②					0													
	③					0													
	④					0													
	⑤					0													
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		9,621	決算に関する説明書													
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	264												
	臨時会補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		9,621	該当/頁	265												
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)																			
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源												
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他													
令和4年度 特定財源 内訳	9,621		0	0	0	0	9,621												
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称																
	国庫支出金																		
	県支出金																		
	負担金等その他																		
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	個々の学習の定着度を測り、学校における課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。																		
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>委託料 (①業務委託料 (物件費)) 委託業務小学校 6,218,741円 委託業務中学校 3,402,748円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力到達度検査(標準学力調査・全面改訂版) ・生活・学習意識調査 <p>○対象学年：小学校第1学年～中学校第2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題データベース 小学校4教科 (国語・算数・社会・理科) 中学校5教科 (国語・数学・社会・理科・英語) ・問題データベースタブレットドリル 小学校4教科 (国語・算数・社会・理科) 中学校5教科 (国語・数学・社会・理科・英語) <p>【令和4年度三次市学力到達度検査 正答率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td><u>69.1%</u> (全国平均+6.5 pt)</td> <td><u>71.6%</u> (全国平均+7.7 pt)</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td><u>76.1%</u> (全国平均+5.9 pt)</td> <td><u>77.9%</u> (全国平均+7.2 pt)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td><u>57.0%</u> (全国平均+2.0 pt)</td> <td><u>60.5%</u> (全国平均+3.3 pt)</td> </tr> </tbody> </table>								令和4年度	令和3年度	全体	<u>69.1%</u> (全国平均+6.5 pt)	<u>71.6%</u> (全国平均+7.7 pt)	小学校	<u>76.1%</u> (全国平均+5.9 pt)	<u>77.9%</u> (全国平均+7.2 pt)	中学校	<u>57.0%</u> (全国平均+2.0 pt)	<u>60.5%</u> (全国平均+3.3 pt)
	令和4年度	令和3年度																	
全体	<u>69.1%</u> (全国平均+6.5 pt)	<u>71.6%</u> (全国平均+7.7 pt)																	
小学校	<u>76.1%</u> (全国平均+5.9 pt)	<u>77.9%</u> (全国平均+7.2 pt)																	
中学校	<u>57.0%</u> (全国平均+2.0 pt)	<u>60.5%</u> (全国平均+3.3 pt)																	
別添資料等	無																		
(事業一覧等)																			
成果/評価 *事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	タブレット用ドリルも活用することで、既習事項の復習、毎日のドリル学習、家庭学習を行うことで、個々の進捗に合わせて学習を進めることができ、児童生徒の基礎・基本の定着を図ることができた。																		

款	項	目	担当部局・課名				
10	1	3	教育委員会事務局 学校教育課				
事業名			体験活動充実事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	報償費 (②講師謝礼)	504	406	0	98	81.0%
	②	需用費 (①消耗品費)	496	417	0	79	84.0%
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			823	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			823	該当/頁 265
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	823	0	0	0	0	823	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		<p>児童の豊かな心の育成を図ることを目的とし、地域の防災活動に関わる体験や、日常と異なる環境での生活体験、三次市の自然・文化・歴史に触れる体験、地域の方々との交流等を通して、自らの命を守る大切さや、ふるさとのよさを実感するとともに、自らの自立心や主体性、よりよい人間関係の形成能力等を伸長することを目指す。</p>					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>報償費 (②講師謝礼) 地域の防災活動に関わる人や自然体験を指導する講師等への支払い。406,243円 地域の防災士を招聘した場合は、「三次市防災士ネットワーク規約」により一日6000円の報償費を支払う。</p>						
	<p>需用費 (①消耗品費) 熱中症対策物品, 消毒液, 等 416,689円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【避難所の設営体験】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【学校を避難所にしたときの活用場所の検討】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【防災士によるロープワーク指導】</p> </div> </div>						
別添資料等	無						
(事業一覧等)	<div style="text-align: center;">  <p>【カヌー体験】</p> </div>						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	<p>防災士など防災活動に携わる方との活動により、児童自身が住んでいる地域の地形や危険箇所を知ることで、災害が起きた場合の逃げ方などを考える必要性を感じることができた。活動に制限がある中でも、友達と協働する姿が見られるとともに、地域の方との交流や体験を通して、地域の良さに改めて気づいたり、地域の支えや防災活動を行う意義を考えたりすることができた。児童の意識調査では、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」についての肯定的回答をした児童は84.3%で、県平均より6ポイント、国平均より7.5ポイント上回った。</p>						

款	項	目	担当部局・課名				
10	1	3	教育委員会事務局 学校教育課				
事業名			英語力向上事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (①業務委託料 (物件費))		59,000	58,997	0	3	100.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		58,997	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		58,997	該当/頁	265
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	58,997	0	0	0	0	58,997	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	児童生徒に異文化を理解し尊重する態度や英語で楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>委託料 (①業務委託料 (物件費)) 58,997,411円</p> <p>A L Tを小中学校に11人配置し、小学校3・4年生の外国語活動、小学校高学年、中学校の英語の授業において、チームティーチング (複数の教師による授業) を行った。</p> <p>また、1・2年生を対象として、英語活動を行った。</p>						
	<p>【令和4年度三次市学力到達度検査より】</p> <p>〇「A L Tに話かけられた時、会話しようとする生徒」の項目</p> <p>中学校1学年 84.8% (全国82.7%) + 2.1pt</p> <p>中学校2学年 83.9% (全国81.0%) + 2.9pt</p> <p>全国と比較して、中学生によるコミュニケーションに対する意欲が高い。</p>						
別添資料等	無						
	(事業一覧等)						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	<p>授業において、指導者がA L Tとの対話モデルを見せたり、学んだ英語を実際に使ってA L Tとコミュニケーションをとったりするなどネイティブの発音を通して児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上が図られた。</p>						



イングリッシュキャンプの様子

款	項	目						
10	1	3	担当部局・課名 教育委員会事務局 学校教育課					
事業名			学校図書館リニューアル事業					
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
事業 (経費) 内の主 な費目	① 需用費 (①消耗品費)		9,200	9,186	0	14	100.0%	
	② 委託料 (①業務委託料(物件費))		1,400	1,400	0	0	100.0%	
	③ 備品購入費 (③その他備品購入費)		1,600	1,227	0	373	77.0%	
	④					0		
	⑤					0		
補正 区分	6月補正	○	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			11,813	決算に関する説明書
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			11,813	該当/頁 265	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	11,813		0	0	0		11,813	
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	学校図書館リニューアル事業として、学校図書の充実、環境整備に取り組み、児童生徒の好奇心を増進することで、児童生徒がことばを獲得を促し、感性を磨き、表現力を高め、創造力を広げ、人生をよりよく生きる力を身に付けていくことができるよう、様々な興味・関心に応える魅力的な学校図書館にする。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	需用費 (①消耗品費) 9,185,775円 社会の変化や学問の進展を踏まえ新しい情報に触れる環境の整備の観点や、学校図書館図書標準で定められている冊数の図書を整備できるように、学校図書館図書の充実・更新を行った。							
	委託料 (①業務委託料(物件費)) 1,400,000円 市内 8 校 (八次小学校・甲奴小学校・みさか小学校・川地中学校・十日市中学校・十日市小学校・酒河小学校・粟屋小学校) に読書活動推進員を配置し、学校図書館の環境の充実や、児童・生徒の読書活動の推進に向けた取組を行った。 備品購入費 (③その他備品購入費) 1,227,058円 学校の図書館が、児童・生徒にとって、ゆっくり読書ができる心地よい空間、また調べ学習や一人学びができる空間となるよう、市内4校 (八次小学校・甲奴小学校・みさか小学校・川地中学校) に、蔵書を収納する書架や移動書架、落ち着いて読書ができるためのカーペット、机や椅子などを整備した。							
別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	学校図書館リニューアル事業は3年目であり、本年度までに小・中学校で 1 2 校の事業を実施してきた。各学校では、学校実態に応じて設定した指標に基づき、児童生徒の不読率の改善を図っている。 令和 4 年度に読書活動推進員が携わった学校は、8 校であるが、様々な読書活動推進の活動を進め、大変好評であった。今後市内全域に拡大していく。 また、需用費による図書の購入により、各学校が古くなった図書を廃棄し、新しい本を配置することができた。							

款	項	目	担当部局・課名				
10	1	3	教育委員会事務局 学校教育課				
事業名			三次版学校ICT活用事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (③施設機器管理委託料)		22,267	21,791	0	476	98.0%
	② 委託料 (①業務委託料 (物件費))		9,600	9,570	0	30	100.0%
	③ 使用料及び賃借料 (⑨その他使用料及び賃借料)		7,113	7,112	0	1	100.0%
	④ 需用費 (⑥修繕料)		1,390	1,390	0	0	100.0%
	⑤ 役務費 (①通信運搬費)		1,188	1,187	0	1	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		41,050	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		108	該当/頁	264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		41,158	該当/頁	265
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和4年度 特定財源 内訳	41,158		4,851	0	0	0	36,307
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金		公立学校情報機器整備補助金				
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	タブレット端末や電子黒板などデジタル機器を効果的に活用した授業づくりを通して、教員の授業力の向上を図るとともに、児童生徒の個別最適な学びを進め、学力の向上を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	GIGAスクールサポート校事業 31,533,604円						
	需用費	消耗品費	53,900	iPadフィルム, タッチペン			
		修繕料	1,390,026	iPad修理代			
	役務費	通信運搬費	1,187,233	フレッツ光利用料, GIGA回線利用料			
	委託料	施設機器等管理委託料	21,790,285	三次市GIGA端末・ネットワーク運用保守, 授業支援アプリ			
	使用料及び賃借料	その他使用料及び賃借料	7,112,160	フィルタリングソフト利用料			
	ICT教育サポート事業 9,570,000円						
	委託料	業務委託料 (物件費)	9,570,000	学校ICT支援員派遣委託業務			
	オンライン家庭学習つながる環境支援事業 54,302円						
		負担金, 補助金及び交付金	補助金 (補助費)	54,302	家庭の通信環境整備の補助金		
別添資料等 無 (事業一覧等)							
成果/評価 *事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	児童・生徒は授業や家庭学習の中で積極的に授業支援アプリを活用しており、一人ひとりに最適で効果的な学びの実現に向けた取組を推進することができている。(ICT機器を活用した授業を週1回以上行った学校: 95.2%) ICT支援員が定期的に全学校を巡回し、児童・生徒や教職員へのICT機器の設定や操作指導、ICTを活用した授業づくりの支援を行った。(ICT支援員学校訪問回数: 延べ127回) 新たに就学する児童のいる家庭のうち申請された家庭へ1万円を上限とした補助を行った。(6件)						

款	項	目	担当部局・課名																						
10	1	3	教育委員会事務局 学校教育課																						
事業名			いじめ防止・不登校対策推進事業																						
事業区分		継続事業	第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」																						
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%																		
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報酬 (④会計年度任用職員報酬)		11,606	11,606	0	0	100.0%																		
	② 報償費 (②講師謝礼)		3,187	2,767	0	420	87.0%																		
	③ 職員手当等 (⑬一般職期末手当)		2,466	2,211	0	255	90.0%																		
	④ 委託料 (①業務委託料 (物件費))		1,811	1,725	0	86	95.0%																		
	⑤ 旅費 (①費用弁償)		977	632	0	345	65.0%																		
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		18,941	決算に関する説明書																			
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		714	該当/頁	264																		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		19,655	該当/頁	265																		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			第三者委員会を開催するための報償費, 費用弁償を予算化しているが, 委員会を開催する必要がなかったため。																						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源																		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																			
令和4年度 特定財源 内訳	19,655		0	0	0	0	19,655																		
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称																						
	国庫支出金																								
	県支出金																								
	負担金等その他																								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	いじめ・不登校の未然防止, 早期発見と初期対応, 不登校児童生徒への学校復帰や社会的自立の取組を行う。三次市学校支援ネットワークを組織し, 教育相談員, 青少年指導相談員, 地域サポーター, スクールカウンセラー, スクールサポーター等の人的な措置を行うことで, いじめ, 不登校に限らず, 生徒指導上の諸課題等への総合的な対応をする。																								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報酬 (④会計年度任用職員報酬) スクールサポーター・教育相談員・青少年指導相談員 報酬 11,606,400円																								
	報償費 (②講師謝礼) 三次市スクールカウンセラー相談業務等 2,767,222円																								
別添資料等 無 (事業一覧等)	職員手当等 (⑬一般職期末手当) スクールサポーター・教育相談員・青少年指導相談員 期末手当 2,211,072円																								
	委託料 (①業務委託料 (物件費)) 総合質問紙調査 小学校 1 回 中学校 2 回 1,724,570円																								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	<p>「学校は楽しい」と肯定的に答えている児童生徒の割合: 令和4年度 86.3%</p> <p>・令和2年度「基礎・基本」定着状況調査は, 新型コロナウイルス感染症流行により実施されず, 令和3年度は, コロナ禍の中で学校行事等が延期または縮小となる中で, 全国の傾向と同様に, 肯定的回答は低下した。令和4年度はコロナ禍以前の数値とまではいかないが, 回復している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H21</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>81%</td> <td>88%</td> <td>89%</td> <td>88%</td> <td>89%</td> <td>88%</td> <td>実施なし</td> <td>79%</td> <td>86.3%</td> </tr> </tbody> </table>							H21	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	81%	88%	89%	88%	89%	88%	実施なし	79%	86.3%
H21	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04																	
81%	88%	89%	88%	89%	88%	実施なし	79%	86.3%																	

款	項	目	担当部局・課名																		
10	1	3	教育委員会事務局 学校教育課																		
事業名			部活動指導員配置事業																		
事業区分		継続事業	第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」																		
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%														
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報酬 (④会計年度任用職員報酬)		4,373	3,318	0	1,055	76.0%														
	② 旅費 (①費用弁償)		275	269	0	6	98.0%														
	③					0															
	④					0															
	⑤					0															
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			3,587	決算に関する説明書														
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 264														
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			3,587	該当/頁 265														
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		想定よりも部活動指導員の勤務が少なかったため。																			
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源															
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																
令和4年度 特定財源 内訳	3,587	0	2,358	0	0	1,229															
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																			
	国庫支出金																				
	県支出金	部活動指導員配置促進事業補助金																			
	負担金等その他																				
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	中学校において、教員に代わり部活動の指導を行う部活動指導員を配置することで、生徒の部活動における技術力の確実な向上と、学校教育活動の一層の充実・教員の「働き方改革」の実現を図る。																				
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報酬 (④会計年度任用職員報酬) 内容: 部活動指導員報酬 3,318,400円 旅費 (①費用弁償) 内容: 部活動指導員 通勤手当相当・生徒引率 268,807円 部活動は、生徒の自己肯定感を高めたり、人間関係の構築を図るなど、生徒の学びの場としてとても意義のあるものである。スポーツや文化活動などの専門的な知識や技能をもつ部活動指導員を配置することで、より一層の部活動の充実と教職員の「働き方改革」の推進をめざしている。 令和4年度は、卓球部2人、バスケットボール部、野球部、サッカー部、ソフトテニス部、吹奏楽部、音楽部に各1人、計8人の部活動指導員を5校に配置した。																				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>R 4</td> <td>・ 三次中学校 1 名 (吹奏楽部)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 三良坂中学校 3 名 (音楽部)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(サッカー部)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(テニス)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 塩町中学校 1 名 (卓球部)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 吉舎中学校 1 名 (野球部)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 十日市中学校 2 名 (卓球部)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(バスケットボール部)</td> </tr> </table>						R 4	・ 三次中学校 1 名 (吹奏楽部)		・ 三良坂中学校 3 名 (音楽部)		(サッカー部)		(テニス)		・ 塩町中学校 1 名 (卓球部)		・ 吉舎中学校 1 名 (野球部)		・ 十日市中学校 2 名 (卓球部)	
R 4	・ 三次中学校 1 名 (吹奏楽部)																				
	・ 三良坂中学校 3 名 (音楽部)																				
	(サッカー部)																				
	(テニス)																				
	・ 塩町中学校 1 名 (卓球部)																				
	・ 吉舎中学校 1 名 (野球部)																				
	・ 十日市中学校 2 名 (卓球部)																				
	(バスケットボール部)																				
別添資料等	無																				
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	・配置した全ての学校から、「部活動指導員による単独指導により顧問の負担が軽減されている」という回答が得られている。また、「部活動指導員が配置されたことで、部活動が充実し、生徒が意欲的に部活動に参加している」という質問に対して、配置校全ての学校が肯定的回答をしている。 ・部活動指導員が単独指導に当たった時間の割合は、運動部6割、文化部8割を上回った。 ・部活動指導員は、感染症対策として、少人数の指導を顧問と分担して行ったり、熱中症予防やけが防止についても職員や生徒の意識向上させたりと、生徒の安全の確保にも大いに貢献している。また、部活動指導員が単独指導を行うことで、教諭の教材研究等に費やす時間が確保できているという校長の声も聴かれた。																				

款	項	目	担当部局・課名				
10	1	3	教育委員会事務局 学校教育課				
事業名			小中一貫教育充実事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報償費 (②講師謝礼)		746	695	0	51	93.0%
	② 需用費 (①消耗品費)		655	602	0	53	92.0%
	③ 需用費 (④印刷製本費)		296	277	0	19	94.0%
	④ 使用料及び賃借料 (④自動車借上料)		151	114	0	37	75.0%
	⑤ 使用料及び賃借料 (⑨その他使用料及び賃借料)		149	149	0	0	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		1,837	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		3	該当/頁	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		1,840	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	1,840	0	0	0	0	1,840	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	義務教育9年間を一体のものとしてとらえ、同じ中学校区の小中学校がめざす子ども像や教育目標を共有し、全ての子どもの可能性を最大限に伸ばす学校づくり及び地域の特性を中学校区の教育へ生かす小中一貫教育を推進するための事業に要する経費に対し、予算の範囲内で事業費を配当することにより、学校独自の豊かな教育内容の創造及び教育活動を支援し、児童生徒の学習意欲の喚起と学力向上を目的とする。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	義務教育9年間を一体のものとしてとらえ、同じ中学校区の小中学校がめざす子ども像や教育目標を共有し、子どもたちの能力や個性を豊かに伸ばすために取り組みました。コロナ禍の中でも、ICTを活用したり、ゲストティーチャーを招いて学習をしたりするなど、各校で工夫した取組を進めました。						
	キャリア教育を軸とした、共通の教育課程「コアカリキュラム」と、各中学校区の特色を活かした「オリジナルカリキュラム」を全ての中学校区で行い、児童・生徒の成長につながる取組を進めるとともに、地域や児童・生徒の実態を踏まえた各学校の実践研究の推進や、各中学校区の取組をまとめた小中一貫カレンダーや小中一貫だよりなどを作成し、広く情報発信しました。						
別添資料等 無 (事業一覧等)	報償費 (②講師謝礼) 内容: 謝礼 (神楽指導・田楽指導・授業研究・公開研究講師) 695,277円 需用費 (①消耗品費) 内容: 教材・教具用紙代・トナー代、のぼり旗、三次学園C・S横断幕等 602,146円 需用費 (④印刷製本費) 内容: 小中一貫カレンダー、みらさか学園研究紀要印刷製本等 276,800円 使用料及び賃借料 (④自動車借上料) 内容: 校外学習のためのバス代 114,505円 使用料及び賃借料 (⑨その他使用料及び賃借料) 内容: AR型コンテンツ (三次中学校区) 148,500円						
	 地域の伝統継承学習 (三次中学校区)			 地域人材と協働した取組 (八次中学校区)			
成果/評価 *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	同じ中学校区の小中学校が、教育目標やめざす子ども像を共有し、それぞれの良さを活かした教育を系統的に行ったり、行事などを合同で開催した。 小中一貫教育をさらに充実・発展させるために、令和4年度モデル地区として三次中学校区でコミュニティ・スクールを導入し、地域学校協働活動の充実を図った。						

款	項	目	担当部局・課名				
10	1	3	教育委員会事務局 学校教育課				
事業名			児童生徒安全確保緊急メール事業				
事業区分		継続事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	委託料 (①業務委託料 (物件費))	562	558	0	4	99.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		558	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		558	該当/頁	265
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	558	0	0	0	0	558	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	児童生徒の安全確保のための緊急メール ・警報発令による臨時休業等の連絡。不審者情報等, 安全確保のための注意喚起, 下校方法の変更等。 ・新型コロナウイルス感染症に係る対応等の連絡。修学旅行, 社会見学等における情報提供。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (①業務委託料 (物件費)) 内容: 携帯電話向けメール一斉送信システムサービスメール 業務委託 558,000円 市内の児童・生徒の保護者に対し, 不審者や災害などの発生情報を, 電子メールを使用した一斉配信で速やかに伝達することにより, 児童・生徒の安全確保を図ることを目的に緊急メール事業を引き続き行った。学校では, 警報等の発表による臨時休校などの連絡や不審者情報, 学校行事における情報伝達を行った。						
							
別添資料等	無						
(事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	悪天候による警報発令の際の連絡や新型コロナウイルス感染症に係る対応等の連絡は, 保護者の混乱を招くことなく, スマーズに情報を伝達することができた。一方で, 学校から通信の電子配付などの情報発信の幅を広げること, 欠席連絡等限定的な情報に限り保護者から連絡ができること等のニーズが高まり, 本メール事業を廃止し, 令和5年度からは, 他システムへ移行する。						